

桜井市長
松井 正剛 殿

2013年8月23日
桜井市社会保障推進協議会
会長 仲川 三恵

要 望 書

日頃の公務遂行に敬意を表します。

2009（平成21）年4月より市の財政難を理由に、第2次行財政改革の実施項目の一つとして、桜井市高齢者総合福祉センター「竜吟荘」の浴場施設の利用の休止と、「竜吟荘」行きの2台のバスが廃止をされました。浴場施設の利用の休止と巡回バスが廃止をされる前の施設の利用者は、一日当たり平均211人でしたが、2012（平成24）年度は31人に激減しました。

施設の利用者が減った原因は、浴場施設の休止とともに巡回バスが廃止をされて、竜吟荘へ行きづらくなったことに大きな原因があります。「竜吟荘」へ行くのにコミュニティバスがありますが、料金が高く利用しづらいのが現状です。

近年、急速な高齢化がすすむなか、高齢者が生きがいを持ち健康増進と維持をはかり、安心して老後を過ごしていくうえで、桜井市高齢者総合福祉センター「竜吟荘」の果たす役割は大きなものがあります。

しかし、浴場施設の休止と巡回バスが廃止をされたために、結果として施設の利用者が激減したことによって、高齢者の社会的孤立化につながることもなります。

今年度は第2次行財政改革の最終年度であることから、一刻も早く休止をしている浴場施設の利用の再開とともに、廃止をされた巡回バスの再運行をおこなっていただくよう要望するものです。

記

【要望項目】

- 一刻も早く桜井市高齢者総合福祉センター「竜吟荘」の休止をされている浴場施設の再開と、廃止をされた巡回バスの再運行をおこなってください。

以上